

会 議 開 催 結 果 概 要 書

1 審議会等の名称	令和5年度第1回市立岸和田市民病院地域医療支援委員会	
2 開催日時	令和5年5月11日(木)午後2時00分	
3 開催場所	市立岸和田市民病院 3階 講堂	
4 公開・非公開の別	(公 開) ・ 非 公 開)	
5 非公開理由 (非公開の場合のみ)		
6 出席者	委員8名	中山委員長、田邊委員、山本委員、雪本委員、 泉本委員、杉原委員、熊取委員、横見瀬委員
7 傍聴人数 (公開の場合のみ)	1名	
8 議題及び審議概要	<p>第1号案件 地域医療支援病院業務報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の実績報告(1-3月分) <p>第2号案件 市立岸和田市民病院からのご案内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事について ・第4回泉州岸和田地域連携フォーラムのご案内 <p>【議事概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員の委嘱、任命後に、委員長、副委員長の選出を行った。 3. 委員長挨拶 4. 事務局より関係病院職員の紹介を行った。 5. 案件(1) 地域医療支援病院業務報告について 令和4年度の実績報告(1-3月分)について事務局より説明。 委員長:本報告についてご意見ご質問はないか。 委員:業務報告を聞き、よく地域連携をされていると感じ 	

る。今後の更なる地域連携について、何か考えがあれば聞きたい。

事務局:報告の中にあった ICT 連携は、各病院・各薬局の端末から当院の電子カルテデータを閲覧いただくシステムであるが、医師会で数件、昨年度は薬剤師会にご協力をいただいて 4 件ほど接続を行った。今年度も医師会等に広報を広めさせていただいて、ICT 連携接続に力を入れていきたいと考えている。

委員:その連携システムによって、スムーズな連携につながるのか。

事務局:病状の確認に、かかりつけ医から電話で確認、情報の取り寄せ依頼を行い、当院の医師が情報を作成し、取り急ぎ F A X で返信するという必要がなく、かかりつけ医の端末からカルテ情報を閲覧できるので、スムーズな診療につながると考える。

委員:紹介率・逆紹介率について、今年度は前年度より向上がみられるようだが、コロナ前と比較して、割合は回復しているか。

事務局:感染拡大によりコロナ患者が増加した月とそうでない月により、割合にばらつきはある。年平均の率にすると、コロナ前と大差はない。患者数にすると、コロナ前よりは 1 割程度の減少が見られるが、前々年度より患者数も回復傾向にある。

委員:統計資料 4 枚目の右下に紹介患者数のグラフがあるのを見ていただくと、毎年回復傾向にあるのが確認できる。地域の医療機関の皆様には引き続きご協力いただきたく思う。

委員長:本報告についてご意見ご質問はないか。

各委員:なし

委員長:ご意見なしということで、本案件を了承する。

6. 案件(2) 市立岸和田市民病院からのご案内

人事について事務局より説明。

委員長:人事異動、人員の確保はスムーズに行えているのか。

委員:人事異動については、経験豊かな副部長を中心として昇格している。後任補充については、順調に医師の補充が進んでいるので安心いただきたい。

委員長:大学との連携もあると聞くので、難しいとは思

が、安心した。前院長が、医師の補充のため、防衛医科大学などへも訪問を行ったと聞いた。市民病院が地域で活躍しようと思えば、悩みの多いことかと思うので、心配していた。

委員:心配される事態にならないように、昨年度は事務局長とともに頻回に大学訪問を行い、継続・増員をお願いした。今回の人事に関しても、やる気のある若い部長の就任が叶い、これからますます市民の皆様へ最新の医療を提供できると確信している。

委員:5/8にコロナがインフルエンザ等と一緒に扱いはなくなった。救急搬送について、テレビの報道などを見ると、今までは俗に言うたらい回しが多かったと思われる。今後、コロナ患者が減少していくと思うが、岸和田市民病院や岸和田徳洲会病院などへの、コロナ以外の救急搬送の時間が短縮されると考えるが、消防署の意見はどうか。1分でも2分でも短くなるのではと期待しているが。

委員:コロナ前、コロナ渦、現在に関わらず、迅速に正確に病院への搬送を行うという考えに変わりはない。確かにコロナ渦では病院の搬送受け入れ困難により時間がかかってしまった事例もあるが、これは全国的な傾向であり、コロナ前と比べると岸和田地域も時間はかかっているが、他の地域より比較的搬送時間も短い。また現在、感染状況が落ち着いていることもあり、病院に断られる件数もかなり減っている。ただ、救急の件数が令和4年過去最多で、今後もこの状況は続くと考えている。件数が増えるということは、病院にスムーズに受け入れいただいたとしても、そもそも待っていただく時間が増えることになることは懸念している。皆さんもご存じの通り、忠岡救急と連携して堺市方面とも助け合い、救急の受け入れを進めていきたいと考える。

委員:市民病院としては、岸和田救急と協力し、迅速に1秒でも早くを心がけている。受け入れに関しては、他の救急患者の蘇生中・処置中などの、どうしても困難な場合を除き、できるだけ早く受け入れるようにしている。具体的には、年間岸和田市消防の救急受け入れは、ここ4年程度30%維持している。昨年度の救急要請が過去最多とのことで、これからも増加することを見込

み、救急スタッフの充実を今までも計画していることではあるが、複数の患者の受け入れが可能となるよう、体制の充実を考えている。

委員長:本報告についてご意見ご質問はないか。

各委員:なし

委員長:ご意見なしということで、本案件を了承する。

「第4回泉州岸和田地域連携フォーラムのご案内」について副院長より説明

副院長:地域医療支援病院の役割の一つである、泉州地域の医療従事者に対する研修の実施の一環として、毎年1回開催している。今年は7月29日(土)グランドホールにて開催予定である。当院の専門看護師、診療科部長2名、院長よりがんセンターの紹介、特別講演として近畿大学血液膠原病内科教授であり副学長の先生に来ていただく予定。正式なポスターが未完成のため、出来上がり次第、改めてご案内となる。

委員長:本報告についてご意見ご質問はないか。

各委員:なし

委員長:ご意見なしということで、本案件を了承する。

7. その他

委員:院内の男性看護師の割合はどの程度か。

看護局長:8%程度が男性看護師である。

委員:噂程度の話ではあるが、一応お伝えしておきたいことがある。男性看護師が、女性看護師からいわゆるパワハラのような、不当な扱いを受けていると聞いた。何か看護局長に報告はあるか。

看護局長:現在、報告や相談は届いておらず、現象も確認できていない。男性看護師もいきいきと働き、働き方改革により育休なども取りやすくなっていることから、男女差別なく働きやすい職場になりつつあると、自身の感覚としてある。しかし、現場の感覚と異なっている可能性はあるので、何かあればすぐにご相談いただければと思う。

副院長:全ての職員が楽しく満足に働くことができなければ、患者様に満足いただけることはないという考えのもと、3年前から多職種働き方改革推進委員会を

	<p>発足させている。各部門の満足調査の実施、不満があれば局や上司を通さず直接相談できるような体制を整えている。多く上がった案件に関しては順次委員会で取り上げ、ワーキングを行い改善に努めている。職員の意見を、局や部署でなく、病院全体で対策しており、本日の貴重な意見も、看護局だけでなく病院としても監視をして取り組んでいく。</p> <p>委員長:本報告についてご意見ご質問はないか。</p> <p>各委員:なし</p> <p>委員長:ご意見なしということで、本案件を了承する。</p> <p>事務局:令和5年度第2回委員会は令和5年8月10日(木)に開催を予定している。</p> <p>閉会</p>
9 その他	